

あさひふれあい通り沿道関係者の皆さまへお知らせ

第1回

「あさひふれあい通りの空間を考える」 ワークショップを開催しました。

柏市では、柏駅周辺の街の魅力度とポテンシャルの向上等を目指し、「柏駅周辺まちづくり 10 年計画」を策定しました。この計画に基づき、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と本ワークショップを通じて検討しています。

平成 27 年 11 月 25 日（水） に、第 1 回ワークショップを実施しました！
15 名のみなさまにご参加頂き、活発な意見交換の場となりました。

第 1 回ワークショップの流れ

1. 開会・ワークショップの趣旨説明（事務局）
2. グループワーク①
あさひふれあい通りの課題について意見交換
3. グループワーク②
あさひふれあい通りの将来イメージについて意見交換
4. 閉会



ワークショップ風景

グループワーク①の結果概要

グループワーク①：あさひふれあい通りの課題について意見交換（40分）

活発な
意見交換が
行われました！

日頃感じているあさひふれあい通りの「活かしたいところ」、「変えたいところ」を付箋に書いて頂き、みんなで意見交換を行いました。

みんなが思うあさひふれあい通りの課題を共有することができました。



グループワーク①で出されたあさひふれあい通りの課題に関する主なご意見です。

活かしたいところ	変えたいところ
<ul style="list-style-type: none"> 人通りが多いことを活かした賑わいづくり（10 年前より人通りが増えた） 飲食店が多く、賑わいがある 通りに朝、昼、夜の雰囲気がそれぞれあって良い 沿道側に緑がある（柏プラザホテル前など） ねぶた運行などのイベント 	<ul style="list-style-type: none"> 歩車分離ができていないので、歩いていて危険 違法駐車が多い 電線が多く、煩雑な景観／電線にカラスがとまり、糞を落とす 空き家があり、ネズミが発生したりなど、衛生上問題がある 路上が夜間の飲食店のゴミ置き場になっている →カラスが寄り付く、通行人もゴミを捨てる 夜間の客引きが多く、歩いていて不安

裏へ 続く →

→表の続き

グループワーク②の結果概要

グループワーク②：あさひふれあい通りの将来イメージについて意見交換（60分）

事務局より通りの先進事例紹介を行い、事例写真を眺めながら、参考にしたい通りの整備や使い方の手法について意見交換を行いました。

頂いたご意見の中から、共通する将来イメージのテーマ（キーワード）をいくつか抽出し、あさひふれあい通りの将来イメージを共有することができました。



事例写真を参考にして将来イメージを膨らませました！

グループワーク②で出されたあさひふれあい通りの将来イメージに関する主なご意見です。

参考にしたい主な手法

- ・舗装を綺麗にする
- ・電柱を地中化する
- ・歩行者の安全性に配慮し、歩道と車道を視覚的に分ける（ただし、イベント利用に配慮して段差はつけない）
- ・8mの幅員は狭いので、プランター等の物は置かない
- ・車の速度を抑制する、毎週末や月に1回は試験的に歩行者天国にする
- ・部分的にシンボルツリーを植える
- ・沿道側でプランター等を置き、緑を増やす
- ・舗装に照明を埋め込む等、夜間の明るいイメージをつくる

主な将来イメージのテーマ

- 歩行者優先
- 安全確保
- 車両規制
- 緑を増やす
- 夜間のイメージアップ

参考にしたい手法の一例

緑を増やす

部分的な
シンボルツリー



夜間のイメージアップ

夜間照明による
雰囲気づくり



安全確保

歩道と車道の
色分け

歩行者優先

フラットな道路

車両規制

夜は車を通さない

今後も引き続き、皆様と一緒にワークショップを実施致します。

第2回
2月初旬予定

どんな空間にしたいか
考えよう

第2回ワークショップでは、あさひふれあい通りを通行する歩行者インタビューア調査結果を参考に、将来イメージを見直すとともに、そのイメージや具体的な手法を実現するための意見交換を行う予定です。みなさまのご参加、お待ちしています！

【お問い合わせ先】 柏市 都市部 中心市街地整備課 担当 石戸（いしど）・小島（こじま）
電話 : 04-7167-2354 FAX : 04-7167-2266
e-mail : chushinshigaichi@city.kashiwa.lg.jp